



くまがい
熊谷 もりひろ

これまでの8年間

子育て支援

- 認定こども園待機児童ゼロ
- 18才までの医療費無料化
- 誕生祝い金全額のお子様拡充

雇用・働く場の確保

- 企業誘致7社

教育振興

- 全教室エアコン設置
- 小学校再編

地域医療

- 病院事業単年度黒字化

災害対策

- 緊急告知ラジオ全戸配布

これまでもそしてこれからも

これからの4年間の約束

人口減少対策

- 地域拠点整備
- 中心市街地活性化
- 企業誘致若者定着策

災害対策

- 河川・道路のインフラ整備
- 避難所の機能充実

高速道路網整備要望

- 県北高速幹線道V期事業採択要望
- 三陸道4車線化実現

産業振興

- 環境保全型農業拡大
- スマート農業推進
- 畜産支援拡大
- 商工振興にぎわい復活
- 森林組合合併推進

I・L・C

誘致

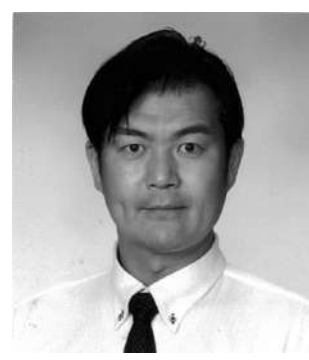
(仮称)地域交流センター整備

行政・議会・図書館・市民交流（公民館・保健センター含む）各々の機能を整備
国から大きな財政支援（合併特例債事業費7割国負担、他に最大21億の補助金）を令和12年までを限りとして受けることができる制度を活用して自治体負担を大幅に削減（30年間年1億1千万の実費負担額）

「オール登米」

「全て市民ファースト」の精神で

新たな登米市共に！
今やるべきこと未来につなぐ



熊谷 やすのぶ
47歳

登米市は、九つの町が合併して誕生してから二十年が経過しました。その間、人口は約一万八千人減り、農家数・農業産出額・工場数・工場に勤める人・市民所得も減少し町の活力が低下しています。このように市民が生活に困窮している時期に、現市長は市役所本庁舎や迫公民館・図書館・保健センター等を含んだ複合施設を、一四八億円の巨費を投じて建設しようとしていました。私は、市議会議員として一期四年間務めさせていただきましたが、この選挙を止め市民生活を豊かに、そして潤いと活力のある登米市を市民生活第一主義で作ろうと市長選挙に立候補しました。次に、私の公約をお示ししますので、ご理解の上、どうぞよろしくご支持をお願いいたします。

1 複合施設整備構想には反対します。特に本庁舎については、全面的な建て替えではなく、中田・南方庁舎で分担している本庁機能と支所との役割分担を再検討し、不足する機能を既存の庁舎に建て増しすることで本庁機能を確保し支出を抑えることができると考えます。

2 複合施設建設予定地の迫庁舎近辺は、一旦、大雨が降ると浸水被害が発生し車の通行ができなくなります。庁舎の建設場所としては適しません。公民館・図書館・保健センターの整備については、別途考えます。

3 最も急がなければならないのは、市民病院の整備です。今の市民病院は老朽化が進み、非常電源も問題を抱えています。さらに産科・小児科やその他の診療科でも医師が不足しています。救急患者の受け入れにも苦慮しています。市民の健康を守る立場から大きな問題です。

4 市立病院の累積赤字は一五八億円に達しています。県の医療圏構想や市民病院の建て替えと場所、民営化も含め、現行の三病院体制のあり方についての検討と改革が必要です。

5 学校統合は、児童・生徒の立場に立ち、財政の効率だけではなく地域を巻き込んだ議論をして進めます。空き校舎の活用についても地域の皆さんと相談して決めます。

6 市民所得の向上を目指します。そのため、農林業の更なる支援の拡充と後継者対策を強化します。
7 企業誘致に努めると共に、商工業・サービス業との連携を図り、新たな雇用の場の創出に一定額の財政支援をします。

8 人口減少対策には、市のあらゆる政策を総動員して当ります。市の自然や住環境、農産物等の優位性を生かし、登米市に住みたくなる施策を進め人口増を目指します。特に子どもの出生や育児関連の助成は更なる増額を目指します。



ながしま
順子
じゅんこ

～子や孫に自信を持って繋げるまちをめざして～
今こそ、登米市刷新!!

“未来創造” 図書館を作る

クリエイティブな活動や集えるお洒落なカフェ

“登米市だからできる！” 日本一の給食

美味しい地元食材を使い未来を担うパワーに！

“正々堂々” 新庁舎建設

コンパクトに作れば今よりコストダウン！

“観光・移住・アート・スポーツ” 交流人口1,000万人

恵まれた気候・風土 食の豊かさ・住みやすさ

Profile

- 1954年9月22日生まれ
- 佐沼高等学校卒業
- 東北大学 薬学部入学
- 埼玉大学 教養学部編入学・卒業
- 学習塾主催・講師
- フェリス学院大学職員
- NPO法人いそご元気サポート理事長
- 地域政党 神奈川ネットワーク運動 役員・共同代表
- 保護司
- 前登米市議会議員

議員時代から登米市9町をくまなく歩き、市民の皆様と対話を重ねました。
ながしま順子公式HP是非ご覧下さい →



実践してまいります。
登米市



【STOP!! 少子化】
出産1人目から登米市内で使える地域ポイントを「百万ポイント」付与登米市で育つ子供を増やし、地域ポイントを付与する事によって地域経済の活性化も図ります。

主役は、あなた あなたの声を市政で実現！

私の個性ある発想力を、市政に活かします！
コロナワクチン接種で、全国でも類を見ない、3密を防ぐ小グループでの時間指定を、ハガキ通知するよう提案しました。

デマンドタクシーを使いやすく

- ・無料回数券の配布
- ・運航地区の拡大
- ・住民バスの小型化と路線拡大

防犯カメラで徘徊者の捜索

主要な交差点や公共施設に、初年度から100台の防犯カメラを設置。
防犯だけではなく、徘徊高齢者の発見に活用します。

子育て支援

- 新入学児童に
- ・通学カバン支給
- ・児童の体育着支給

出産支援

- 産科への通院支援
- 24時間陣痛タクシー
- 市外の通院に利用できます。

独居老人 市職員の定期訪問

介護施設に頼らない独居高齢者を、市職員が月1回訪問し、健康状態や生活上の困りごとを確認し、生活改善の提案をします。

給食費無料と子ども食堂

- 小中学校の給食費を無料
- 学校の夏休みや冬休み期間の「子どもカレー食堂」の運営

安心の出産から高齢者が自分らしく余生をおくれる『まち』にするために

地域交流センター借金より、税金を市民の暮らしに！

幸せ感のある『まち』をめざして

大規模すぎる図書館はいらない
年々減少する出生数は令和6年度で約300人。一方で図書館は体育館運動場の3倍の広さ。慎重に検討すべきです。
借金50億円の見込みも、建設費が高騰！
借金返済や維持費にあてる税金は、市民の暮らしに使うべき。
子育て支援の充実や、移動しやすい交通に使うことで、多くの市民が恩恵を受けられます。
安心できる『まち』づくりは、市の魅力になります。

プロフィール：佐沼高校・元行政区域長・佐沼オールテニスクラブ元会長・グリーンTC元会長



よしだ
吉田 ひろし